研究所アドバンスドセミナー

院内職員のどなたでも来聴歓迎です

講師：

吉野剛史　先生

大阪大学WPIヒューマンメタバース疾患
研究拠点・特任准教授

講演タイトル：

「生殖巣体細胞の出現機構の理解に基づくマウス生殖巣オルガノイドの構築」

概要：

生殖巣（卵巣と精巣）は卵子や精子を産生しつつ性ホルモンを分泌して性特異的な体をつくり、その異常は不妊や性分化疾患の原因となる。生殖巣のオルガノイドを多能性幹細胞から構築できれば、これらの疾患を解析できるようになるのに加え、卵子や精子も作出できる。

生殖巣は胎児期の雌雄同体の未分化生殖巣が性決定を起こして形成される。未分化生殖巣を構成する細胞のうち、精子や卵子の前駆細胞である始原生殖細胞様の細胞はマウスやヒトの多能性幹細胞から誘導されていた。一方、始原生殖細胞の発生を支える生殖巣の体細胞についてはその出現機構がわかっておらず誘導も困難だった。本発表では、はじめに我々が明らかにした生殖巣体細胞を出現させる機構について紹介したい。続いて、この成果を利用してマウスES細胞から生殖巣体細胞を誘導し、卵巣と精巣のオルガノイドを構築する試みについて紹介したい。

日時：

令和6年 11月5日（火） 16：00から

場所：

研究所6階　会議室

問い合わせ：研究所　藤木　　内線5402